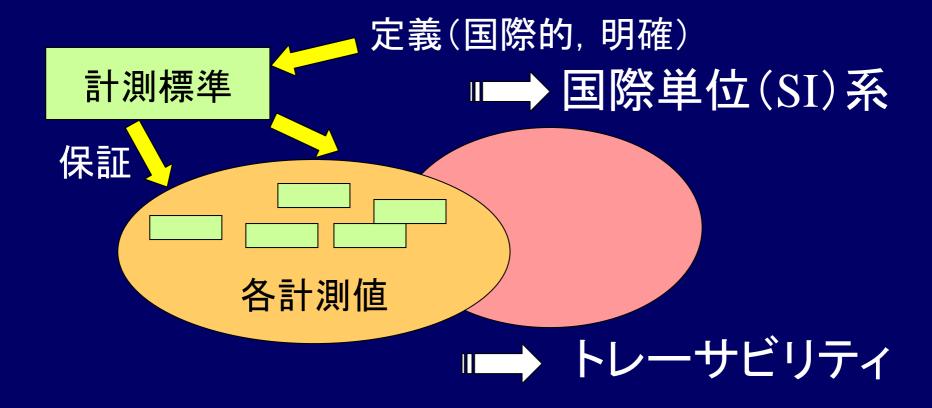


時空全体に亘り





標準の必要性

測定目的	要求項目			
実験データの信頼性	測定の単位,標準,測定方法が公認のものに準拠			
工業製品の部品の互換性	設計, 製造, 試験時の測 定の一貫性, 共通性			
環境保全,公害防止	大気, 水質, 振動, 騒音 測定の公共的評価			
商品売買	量, 質の公共的評価			

科学技術の進展

標準の検討

電子工業, 宇宙関連工学

高周波,マイクロ波その他の電気諸量

レーザー

通信,計測,加工 ― 精密計測 ― 新しい標準

十社会的要請

原子力利用

光,騒音,電子レンジのマイクロ波

電離放射線と物質との相互関連に関した標準

それらに対する生物の 感応に関連した標準

[物理量]

厳密

物理学における一定の理論体系のもとで 次元が確定し、定められた単位の倍数とし て表すことができる量

一意性, 普遍性, 再帰性

[工業量]

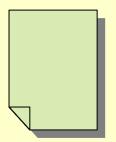
利便

複数の物理的性質に関係する量で、測定方法によって定義される工業的に有用な量、硬さ、表面粗さなど

互換性,製品の一様性,機能性などの特性確認

(注) 公害,環境問題 → [心理物理量] 特定の条件のもとで感覚と1対1に対応して心理的に意味があり, かつ物理的に定義・測定できる量. 色の三刺激値, 音の大きさなど

[データ型]



- ○現象を特徴づけるデータで表示
- 〇量子標準
- 〇時間,長さ,磁気量子,温度標準

[標準試料型]

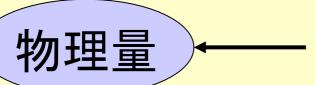


- 〇多くの因子の影響を受ける. 定義に 物理的明確さが欠ける.
- 〇工業上は重要
- 〇粘度の標準液, 硬さの標準試片

[計測器型]



計測器に内臓するスケールで読取る



物理法則による相互関連



各分野独自に単位を決めると相互間で矛盾



必要最小限の単位、標準 ── 国際単位(SI)

- (1)物理量の標準 ← 根源的な物理学(量子力学)で 統一的に決める
- (2)物理量の関係 ← 次元解析

次元解析

次元(dimension)

- 〇物理学者が使う道具の中で最も重要なもの
- 〇方程式を丸暗記する必要はない
- 〇物理的世界を想像してみることができる

次元解析

- 〇究極の近似法
- 〇この世界についての根本的な展望
- → 自分の感覚や測定値などの情報を判断

$$X=n$$
 U 物理量 数值 单位

ある物理量:
$$Y=CX_1^{m_1}X_2^{m_2}\cdots X_k^{m_k}$$

$$n_{Y}\left[U_{Y}\right] = Cn_{1}^{m_{1}}\left[U_{1}^{m_{1}}\right]n_{2}^{m_{2}}\left[U_{2}^{m_{2}}\right]\cdots n_{k}^{m_{k}}\left[U_{k}^{m_{k}}\right]$$

$$[U_Y] = \frac{Cn_1^{m_1}n_2^{m_2}\cdots n_k^{m_k}}{n_Y} [U_1^{m_1}U_2^{m_2}\cdots U_k^{m_k}]$$

$$m_1, m_2, \dots, m_k = Y O X_1, X_2, \dots, X_k$$
 に関する次元

[電磁気単位の決め方]

電磁気学と力学を無矛盾に

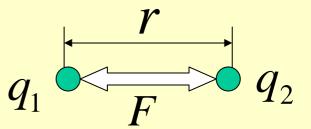
(a) クーロンの法則

$$F = \frac{1}{\alpha} \cdot \frac{q_1 q_2}{r^2} \qquad (1)$$

(b)ビオ・サバールの法則

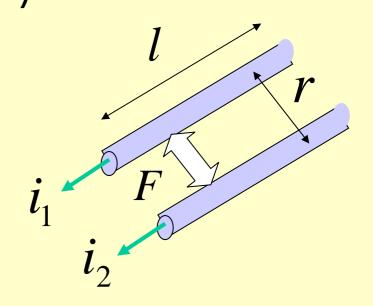
$$F = \frac{1}{\gamma} \cdot \frac{m \cdot i \cdot l}{r^2} \tag{3}$$

(c) 電流と電荷の関係 $q = i \cdot t$ (4)





$$F = \frac{1}{\beta} \cdot \frac{m_1 m_2}{r^2} \qquad (2)$$



物理量の数=3
$$(F,q,m)$$
 独立な物理量の数=2 式の数=4

 \rightarrow α, β, γ のうち独立な係数=2

数量的関係:
$$\left\{\frac{\gamma^2}{\alpha\beta}\right\} = c_0^2$$
, c_0 : 真空中の光速 (6)

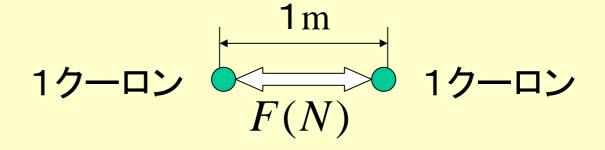
次元関係:
$$\left[\frac{\gamma^2}{\alpha \beta} \right] = \left[m^2 \cdot \sec^{-2} \right]$$
 (7)

一方,
$$\alpha \propto \varepsilon_0$$
 (真空中の誘電率)
$$\beta \propto \mu_0$$
 (真空中の透磁率) ここで, $\alpha = \varepsilon_0/u$, $\beta = \mu_0/u$, $\gamma = k/u$ とおくと
$$\left\{\frac{k^2}{\varepsilon_0\mu_0}\right\} = c_0^2, \left[\frac{k^2}{\varepsilon_0\mu_0}\right] = \left[m^2 \cdot \sec^{-2}\right]$$

電磁気量の単位決定

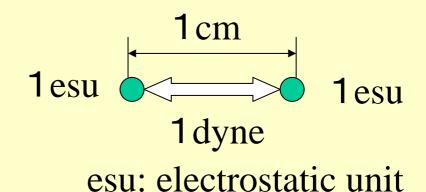
- (1) c_0 の基本単位: CGS単位系, MKS単位系
- (2)独立量の決定: 静電単位系(ε_0 , k), 電磁単位系 (μ_0 , k), 対称単位系(ε_0 , μ_0)
- (3)数の因子の決定: u=1 or $1/4\pi$

MKS 単位系

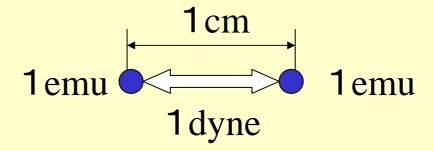


CGS単位系

CGS静電単位系



CGS電磁単位系



emu: electromagnetic unit

単位系	и	ε_0	μ_0	k
MKS単位(非有	1	$10^{7/}c_0^{2}$	10-7	1
理)	$1/4 \pi$	$10^{7/4} \pi c_0^2$	$4 \pi \cdot 10^{-7}$	1
MKS帶電单包理)	1	1	$1/c_0^2$	1
CGS電磁単位	1	$1/c_0^2$	1	1
Gauss単位	1	1	1	c_0
Heaviside-Lorentz	$1/4 \pi$	4 π	4π	$4\pi c_0$
単位				

国際単位系(SI)

International System of Units
Systeme International d'Unites (フランス語)

- (1)正確さ, (2)不変性, (3)再現性,
- (4)実用上の普及性, (5)統一性

SIの 構成 基本単位(7): 長さ,質量,時間,電流 熱力学温度,物質量,光度

補助単位(2): 平面角,立体角

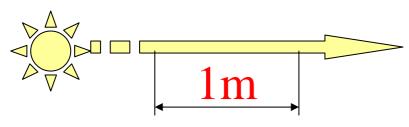
組立単位: 基本単位の組合せ(11)

単位に固有の名称(16)

上記単位の10の整数乗倍

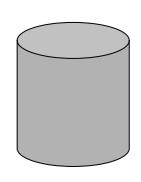
メートル

真空

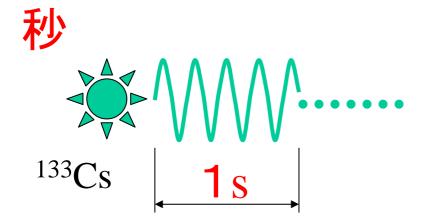


1/299792458秒間の行程

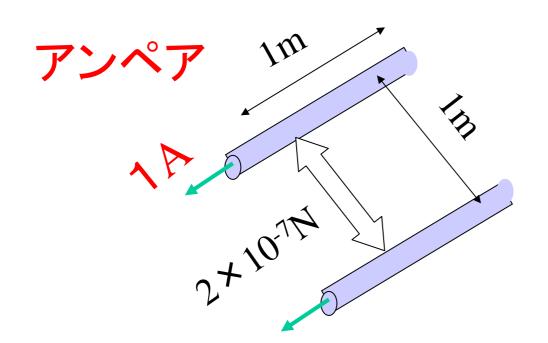
キログラム



国際キログラム原器

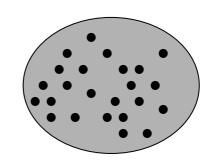


9192631770周期の継続時間



モル

¹²C 0.012kg(=12g) の原子数



カンデラ

540×10¹² Hz

≅ 6.023×10²³ 個
の要素集合体

組立単位の基本単位表示(次元解析)

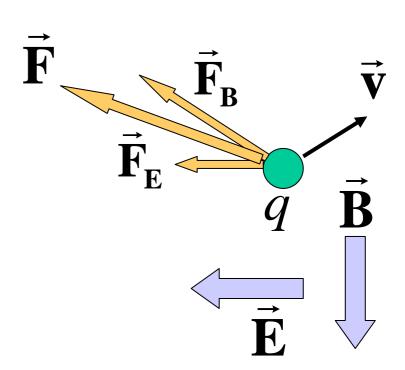
磁束密度の単位 [T] ?

ローレンツカ:

$$\vec{\mathbf{F}} = q(\vec{\mathbf{E}} + \vec{\mathbf{v}} \times \vec{\mathbf{B}})$$

次元等式:

$$\left[\mathbf{V}\cdot\mathbf{m}^{-1}\right] = \left[\mathbf{m}\cdot\mathbf{s}^{-1}\cdot\mathbf{T}\right]$$



$$[V] = [W \cdot A^{-1}] = [kg \cdot m^2 \cdot s^{-3} \cdot A^{-1}]$$

$$\therefore [T] = [kg \cdot s^{-2} \cdot A^{-1}]$$

計測値の表示法

計測値=(小数を含む数値)×(桁数)(単位)

0.1~999 (桁数を表す接頭語)(単位) 有効数字が分かる 概略値が分かる

$$1.2 \times 10^4 \text{ N} \rightarrow 12\text{kN}$$

$$0.00394\text{m} \rightarrow 3.94\text{mm}$$

$$10^{-6} \text{s} \rightarrow 1 \mu \text{s}$$